

RESULT LIST

0 results found in the Worldwide database for
jp54-34493 as the publication, application, priority or NPL reference number

Data supplied from the **espacenet** database — Worldwide

⑩日本国特許庁

①特許出願公開

公開特許公報

昭54-34493

④Int. Cl.²
D 06 M 13/00
D 06 M 15/00

識別記号

⑤日本分類
48 D 0
7199-4L
7199-4L

序内整理番号

⑥公開 昭和54年(1979)3月13日
発明の数 1
審査請求 未請求

(全4頁)

登録者

徳島市新南福島2丁目3番3号

⑦特 願 昭52-99255

⑧出願人 福岡辰雄

⑨出願 昭52(1977)8月17日

徳島市新南福島2丁目3番3号

⑩発明者 福岡辰雄

⑪代理人 弁理士 豊嶋康弘

明細書

本件特許請求の範囲等(II)及び記載の構成。

1 発明の名前

(6) 薬剤が、酸性剤、皮膚潤滑剤、乾燥剤、脱脂剤、防腐剤、芳香剤、表面活性剤のいずれかが、単体あるいは混合されたものである特許請求の範囲第(I)

紙

(I) 請求範囲の構成。

2 特許請求の範囲

(7) フィラメントの表面全体に、均一に、樹脂混合の合成功能層が形成された特許請求の範囲第(II)記載の構成。

(1) 薬剤が混合された合成樹脂層が表面に形成されたことを特許とする構成。

(8) フィラメントの表面に、不均一に薬剤混合の合成功能層が形成された特許請求の範囲第(II)記載の構成。

(2) キノファイラメントの表面に薬剤混合の合成樹脂層が形成された特許請求の範囲第(II)記載の構成。

(9) フィラメントが合成樹脂で、フィラメント内にも薬剤が混入された特許請求の範囲第(II)記載の構成。

(3) マルチフィラメントの表面に薬剤混合の合成樹脂層が形成された特許請求の範囲第(II)記載の構成。

(10) フィラメント内よりも表面の合成樹脂層に多量の薬剤が混入された特許請求の範囲第(II)記載の構成。

(4) 薬剤混合の合成樹脂層が表面に形成されたりノファイラメントと、薬剤混合の合成樹脂層が形成

されないセノファイラメントとが複数が並り合われ

(II) フィラメントが合成樹脂で、フィラメントの表面に直接溶剤が付着された特許請求の範囲第1項記載の構成。

3. 透明の部材の説明。

本発明は、表面に樹脂層が形成された構成に関するもの。

本発明者は、合成樹脂層を形成するときに、原料内に溶剤を混合して樹脂内に溶剤を現台したものと開始した。しかしながら、例えばナイロン織維の場合、フィラメント化が求めるとときに、原料が約200度にも加熱されるので、耐熱性のある溶剤しか配合できない欠点があり、また、フィラメント内に溶剤が混合されるので、溶剤によつてフィラメントの強度が低下し、しかも多量の溶剤が配合できず充分な溶剤が開拓できない欠点があつた。更に又、フィラメント内の金体に溶剤が混合されるので、フィラメント表面の溶剤は有効

に利用されるが、中心付近の溶剤が有効に利用されず、このことによつても更に強度が低下した。

本発明は、これ等の欠点を除却する為に、フィラメントの表面に、蒸気が乾燥された合成樹脂層を形成したもので、本発明の重要な目的は、フィラメントを従来の方法で製造でき、その表面に溶剤を付着するので乾燥が簡単で、また製造方法を従来のものからそれ程変更する必要がなく、製造装置自体も簡単である。

又本発明の他の重要な目的は、表面に留めて多量の溶剤が付着すると共に、溶剤をずに簡略的・省力化する合成樹脂層を使用することによつて、ほんどの全ての織物が付着でき、優れた強度と柔軟性を提供するにある。

更に又、本発明の他の重要な目的は、溶剤が合成樹脂内に混合されたものであるから、洗濯しても溶剤が消失せず、しかも織物の持続性が著しく

(3)

長い織物を提供するにある。

以下本発明の実施例を図面に基いて説明する。

第1図ないし第4図に示す織物は、フィラメント1の表面に溶剤が混合された合成樹脂層2が形成されている。

第1図の織物は、モノフィラメント1の表面に溶剤混合の合成樹脂層2が形成されたもので、第2回の織物は、複数本のモノフィラメント1が織り合されたマルチフィラメントの表面に溶剤混合の合成樹脂層2が形成されたもので、第3回の織物は、溶剤混合の合成樹脂層2が表面に形成されたモノフィラメント3が複数本織り合されたもので、第4回の織物は、溶剤混合の合成樹脂層2が表面に形成されたモノフィラメント1と、合成樹脂層2が形成されないモノフィラメント1とが複数本織り合されたものである。

第1図ないし第3回に示すように、フィラメン

(4)

ト1の全周に、溶剤が混合された合成樹脂層2を形成する最も簡単な方法は、液体状態で混合されたモノあるいはマルチフィラメント1を、溶剤が混合された液状の合成樹脂層を洒し、フィラメント1の表面に合成樹脂層を付着させた後、合成樹脂層を硬化せらるべ。

溶剤に未硬化状態の合成樹脂層が付着したフィラメントは、水花を通してによつて、表面の合成樹脂層を薄くあるいは均一にする。たゞ本発明は、フィラメントの表面に合成樹脂層を形成する方法およびその状態を第1図ないし第4図に示すものに限定するものでないもので、例えばフィラメントの表面に溶剤が混合された液状の合成樹脂層をスプレーするとか、あるいは塗布するのも含み、又フィラメント表面には、全体あるいは部分的に合成樹脂層が形成されたもの、あるいは、フィラメントの表面に粒状の合成樹脂層が付着されたも

(5)

のも含む。

更に、フィラメントが合成樹脂層である場合、例えば薬剤を加熱するか、あるいはフィラメントの表面を加熱して、フィラメント表面の合成樹脂層を溶離し、この溶離した合成樹脂層を溶離することも可能で、この場合、薬剤が混合されない。合成樹脂層・フィラメント表面の合成樹脂となる。

合成樹脂内に混合される薬剤の種類は、樹脂の用途により選択される。例えば薬剤が既下に使用される場合、溶液にして水虫等の治療および予防をしたり、あるいは蒸気乾燥させて蒸氣をなくしたり、あるいは又防腐、脱臭したり、更には汗や惡臭を除去したりする。又て本明細書において薬剤は特に広い意味に使用するものとし、樹脂に付着されて何らかの効果を生ずる全てのもの、例えば殺菌剤、皮膚病治療剤、防腐剤、脱臭・防腐剤、芳香剤、医薬剤およびこれ等に類似する全て

のものが半強あるいは複数混合されて使用されるものを含む。薬剤を生ずる全てのものは、被塗層や治療剤のみでなく、例えば活性炭のように、活性炭や竹炭等を吸着するものや、ミネラル風呂のように、活性あるいは近接するものをイオン化するものまでも含むことを意味する。

合成樹脂内に混合された薬剤が、合成樹脂層の表面に表出する状態は大別して二つある。第1の状態は、薬剤の合成樹脂層が堅膜して内部の薬剤が表出するもので、これは、例えば既下のように強くこすられる個所において有効に利用できる。この場合、合成樹脂層に、よく摩擦するものを使用するか、あるいは摩擦し易いように、多量の薬剤を充填剤に競合することによって、薬剤の表出量を多くできる。

合成樹脂層内の薬剤が表面に表出するもうひとつの状態は、合成樹脂内に薬剤が極めて表面移

(7)

行するもので、表面は合成樹脂内の可塑材と一緒に、あるいは合成樹脂内の隙間を通して表面移行する。この場合、合成樹脂に、例えば PVC のように、可塑剤が多く混合されるものを使用するとによって、表面移行を早くできる。

ところで、フィラメントが合成樹脂層の場合、第5図に示すように、フィラメント 1 内にも開閉を開閉することが可能である。次にフィラメント 1 内の薬剤混合量は表面の合成樹脂層 2 よりも少なくて済むのが強度的に好ましい。

本発明に係る樹脂は、繊維の細く、表面に薬剤が混合された合成樹脂層が形成されたものであるから、すでに従来の方法で製造されたフィラメントの表面に於て合成樹脂層を形成するだけで加工でき、製造が簡めて簡単であることは言うに及ばず、従来のフィラメント製造装置がそのまま使用できるので、全体の製造設備がいたつて簡単で、

(8)

更に、簡単かつ容易にしかもコスト安に多量生産できる効果があり、又、フィラメントの表面に薬剤を付着するものであつて、被塗層全体に薬剤を混合するものでないから、薬剤の混合率を著しく低くでき、すれを現れと共に、薬剤が有効に利用され、更に又、表面に付着される合成樹脂は、必ずしも加熱して融解する必要がなく、例えば経時的に強度化するものが使用可能である。而後他の方向にとんど全ての薬剤が、薬剤を低下させずに混合でき、しかも單に繊維の表面に付着されたものでなく、合成樹脂内に埋没された状態で付着されるので、繊維を洗浄しても溶剤は消失せず、繊維を洗浄して長期間に亘つて使用でき、しかも合成樹脂層が擦耗するか、あるいは薬剤が表面に移行して効果を生ずるので、その持続性は著しく優良される。

4. 製造の簡単な説明

(9)

第1図ないし第5図は本発明の実施例を示す集
團の最新状態である。

特開昭54-34493(4)

1***ファラメント、2***合成樹脂層

代理人弁理士齊藤弘司



第1図



第2図



第3図



第4図



第5図



(11)